



平居 ゆかり 議員 無会派

問 地域共生社会における自治会は

答 行政システムよりも重要

- 問** 市内の孤独死をどう問題視するか。
- 答** **健康福祉部長** 誰ともつながっていないことが問題である。
- 問** 緊急通報システム事業の活用事例は。
- 答** 令和6年度は12件、令和7年度は2月末時点で10件。
- 問** 離れて暮らす家族への周知対策は。
- 答** 家族も参加する介護サービス担当者会議などで提案。
- 問** 行政支援は地域力あってこそ有効と考えるが、市の見解は。
- 答** 支援に必要な情報が届く可能性を上げる効果が期待できる。
- 問** 市民にしかできない役割を尊重する考えは。

- 答** **市民生活部長** 非常に重要なものとして高く評価。
- 問** 地域共生社会における自治会の位置づけは。
- 答** 行政の手の届かない細やかな支え合いを担えるのは、自治会しかない。
- 問** 地域づくりの先進事例を掲載していくという答弁の進捗は。
- 答** ハンドブックなどを見直し、速やかに掲載する。
- 問** 自治会の位置づけについて明確な見解を。
- 答** **市長** 高度な行政システムよりも重要な仕組みである。



問 高齢者の社会参加への促進は

答 外出しやすい環境整備に努める

- 問** 高齢者ボランティアの情報不足や心理的ハードルへの考えと対策は。
- 答** **市民生活部長** 社会福祉協議会と連携し対策を講じていく必要がある。
- 問** 「チョイソコやとみ」社会実験で、不成立件数の多さが外出控えを招いていないか。
- 答** 原因とは考えていない。北部東部エリアは令和8年4月から午前中1台増車予定。
- 問** 公共交通と併せた※ウォーカブルな環境整備の考えは。
- 答** **都市整備課長** 居心地がよく歩きたくなる空間を創出できるようなまちづくりが必要。
- 問** 十四山福祉センターのカラオケ機器を更新するの

- 答** **健康福祉部長** 更新計画はない。十四山および総合福祉センター、いこいの里は令和8年10月31日で終了する。
- 問** 「弥富市公共施設再配置計画」における三ツ又池公園との連携強化内容は。
- 答** 三ツ又池公園で開催される本市が主催、後援するイベントで連携している。
- 問** 総括を。
- 答** **市長** 活躍の場づくり、移動手段の確保など外出しやすい環境整備に努める。

※ウォーカブル：自動車中心から、「人中心」へ転換した「歩きやすい・歩きたくなる街」を目指す考え方。